

がん看護専門看護師

- ・がんのあらゆる病期において、患者さんやご家族にとって、最良かつ安定した状態を獲得・維持し、自分らしく生きていくことができるよう支援していきます。
- ・がん患者さんにご家族の身体・心理・社会的なさまざま苦痛に対して、多職種と連携しながら軽減を図っていきます。
- ・医療従事者に対しても、実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究の役割に沿って支援します。

私たちはこんな活動をしています

- がん相談
- 移植看護
- 認定・専門看護師によるコンサルテーションのシステムづくり
- 造血幹細胞移植 患者勉強会
- 造血幹細胞移植 拠点病院セミナー
- 東海大学看護師キャリア支援センター「がん性疼痛看護」講師
- 神奈川県単位型緩和ケア研修会ファシリテーター
- 大学院修士課程(がん看護専門看護師養成課程)講師
- 看護学生へのがん看護教育(講師)

大塚 敦子

サブスペシャリティは造血幹細胞移植と化学療法です。

化学療法に伴う苦痛症状を緩和する看護を提供していきます。造血細胞移植については、生活上の留意点を患者・家族の皆さんに理解してもらい、移植後の『よりよい人生』につなげるお手伝いをさせていただいています。

さまざまな患者さんや家族との出会いから、がんになっても自分らしく生きることの大切さを実感しています。医療の進歩により治療法や療養環境を選べる時代となった現在、患者さんにとっての価値観を尊重した医療・看護提供ができるよう一緒に考えていきたいと思っています。

堂園 幸子

サブスペシャリティは緩和ケアです。

がん性疼痛看護認定看護師として緩和ケアチームで活動しながらスキルアップのためにがん看護専門看護師の認定を受けました。

緩和ケアチームでは、主に治療中から終末期にあるがん患者さんやご家族の苦痛緩和に重点を置いた看護を実践してきました。現在はその経験を活かし、がん相談支援センターで患者さんとご家族の治療や療養上の不安、困りごとの相談に応じています。

がんと共に生きる時代と言われますが、そこにはたくさんの不安や悩みがあります。患者さんやご家族の不安や悩みを聴き、時には一緒に重荷を背負ったり、力づけたり、また様々な局面の意思決定を支えたり、がんを抱えながら生きていくことの少しの支えになれたらと思っています。